

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和3年7月

事業所名:つつじ学園 職員数 33名 回収数 30名 割合 91.0%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	77	23	お子さんの活動量等により訓練指導室が手狭に感じる部分については、適宜、集会室や園庭を使用し、発散する場所と集中する場所、動と静を組み合わせることによってバランスをとるよう心がけています。	
	②	職員の配置数は適切である	43	57		・肢体のクラスは1対1の対応が求められ、それ相応の職員配置の必要性は十分認識した上で職員募集を行っています。 ・職員の適正配置については日々、検証してまいりますが、働き方の見直しや働きやすい職場環境を作ること、長く勤務していただける職員の育成、研修等による職員の質の向上なども併せて進めてまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	77	23	段差のない手すりやドア、窓のマジックミラーの設置、パーテーションや指示目的の写真・絵カード等の提示でお子さんの安心につながるような工夫や配慮を行っています。	・物品の整理・整頓、廃棄等については、毎年見直ししてまいります。 ・バリアフリーについては、修繕を要するものかどうか検証してまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	93	7	衛生面と安心・安全面に配慮して、消毒、清掃の徹底と安全点検に取り組んでいます。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	97	3	非常勤職員も含めて横断的なグループを設置しており、定期的な打ち合わせを実施し業務改善を推進しています。	職員のモチベーションを向上させ、今後より一層の充実を目指します。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100	0	保護者アンケートを実施し、集計結果と分析及び改善の取り組みを保護者にお知らせしています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	97	3	自己評価や保護者向け評価結果を踏まえ、適宜、次年度への予算計上や、事業計画へ反映させることで改善に努めています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	—	—		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100	0	概ね月に1回以上、施設内研修を実施し、職員の資質の向上を図っています。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	97	3	専門職等クラス担任以外の職員を含め、個別支援計画を作成しています。	専門職等、各クラスの担任との連携を密に行ってまいります。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83	17		支援計画作成に際し、評価のばらつきや偏りを防ぐために、発達の過程がわかる統一の様式(アセスメントシート)を今年度中に作成する予定です。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	97	3		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100	0		

関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	93	7		
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	97	3	プログラムを固定化する事で安心と分かりやすさに繋げている部分もあります。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100	0		
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83	17	今年度から支援の在り方についての検討の時間を確保しやすくするため、センターの降園時間を14時に統一しました。(これまでは、14時30分と13時30分の2通り)	支援の在り方についての検討のより一層の定着化を引き続き推進してまいります。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	87	13	今年度から支援の在り方についての検討の時間を確保しやすくするため、センターの降園時間を14時に統一しました。(これまでは、14時30分と13時30分の2通り)	支援の在り方についての検討のより一層の定着化を引き続き推進してまいります。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	93	7		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100	0		
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100	0	経験豊かな児童発達支援管理責任者が参画しています。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100	0	関係機関との連携に向けて、渉外と施設内の支援体制構築を担当する職員を配置しています。	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	93	7		行政、医療、福祉との連携をさらに密にした支援を行ってまいります。
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	97	3	保護者からの依頼に基づき、主治医や医療機関等との連絡体制を整えています。	
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	93	7		
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	97	3	就学時に学校への申し送りや引継ぎをしっかりと行っています。	
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	87	13	県内の他施設との会議や研修等を通して、情報交換や情報共有を行っています。ただし、コロナ禍のため対面での研修等は行えていません。	
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	43	57	コロナ禍の為、安全面を配慮し、交流は控えています。	
㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	77	23	自立支援協議会のつながり支援部会に参加し、活動を推進しています。	
㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100	0		
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	77	23	親子通園保護者の療育参加を通して支援を行っています。専門職員との対話、面談や研修を適宜取り入れています。	
㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100	0	インテークや入園に向けたオリエンテーション等で説明しています。	

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	77	23		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100	0		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	93	7	保護者会の会場提供と各種相談に応じています。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100	0		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	93	7	学園だよりを毎月発行しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	93	7	個人情報を含む書類の回議や回覧の際には中が見えないような配慮を施しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	73	27		コロナ禍のため実施できませんでした。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100	0	各種マニュアルについては適宜、見直しをしています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100	0	月1回の火災避難訓練をはじめ、各種災害を想定した訓練を実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	97	3		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100	0		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100	0		適宜、年度ごとの統計的な分析も行いながらヒヤリハットの防止に努めてまいります。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	90	10		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している支援計画に記載している	100	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。